

原位置分解法(げんいちぶんかいほう) | *

原位置分解法は、現地の汚染土壌を掘削することなく化学的・生物的、あるいは熱的作用によって汚染物質の分解を目指すものであり、その分解機構により多くの方法がある。化学的処理法では汚染土壌中に薬剤を添加して化学的に汚染物質の分解をおこなうもので、過マンガン酸カリウム法、フェントン法、鉄粉法などがある。生物的処理法は汚染土壌に生息する分解微生物を利用し、生物的に汚染物質の分解をおこなう。

(佐々木)